

令和 2 年度シラバス

教科名	情報	科目名	社会と情報	履修学年	1 年生	履修形態	必修
単位数	2 単位	時 数	7 0 時間 (50分授業)	担当者名		本間	拓朗

教科書	東京書籍『社会と情報』	副教材	
-----	-------------	-----	--

学習目標	情報機器を適切に活用し、情報を収集、分析しながら問題を解決する力を身に付ける。 情報機器を活用したコミュニケーションや情報発信において、他者への配慮や責任をもつ態度を育てる。 情報化が社会に及ぼす影響や課題について理解し、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。 コンピュータや情報通信ネットワークのしくみを理解し、情報社会を支えるシステムに関心をもつ。
指導の重点	①情報の収集や発信における利便性ととも危険性について理解する。自分自身がトラブルの加害者・被害者の当事者になり得ることを自覚する。 ②情報の取り扱いでは、人権尊重の視点から考え行動する態度を育てる。 ③アプリケーションソフトの実習をおこない、卒業後、就職先や進学先で必要となるスキルの基礎を習得する。

学期	考 査	単 元	時 数	学 習 内 容	評価の観点			
					関	思	技	知
第 1 学期	中 間	第 1 章 情報を活用する	3	メディアの意味と特徴を学ぶ。 情報の信憑性について理解する。 情報を批判的にとらえることを知る。			○	○
		第 1 節 わたしたちを取り巻く情報						
	実 習	第 2 節 アナログからデジタルへ	3	10 進数と 2 進数, 16 進数について理解する。 文字, 画像, 動画像などのデジタル化の仕組みを理解する。	○		○	○
		情報の活用 (ワープロの活用)	4	ワープロソフトの基本的操作を理解する。 タッチメソッド (ブラインドタッチ) の取得・基本機能の習得ができる。 文書にイラストの挿入ができる。				
期 末		第 3 節 情報の表現と伝達	2	情報の表現と伝達について理解する。 情報伝達のためのメディアの選択やカラーユニバーサルデザインについて理解する。				○
		第 2 章 ネットワークを探索する	4	IP アドレスやパケット通信について学ぶ。 WWWや電子メールの仕組みを理解する。 検索エンジンの仕組みとその検索方法について理解する。				
実 習		第 1 節 インターネットの利用			4	情報収集を行う際の注意点を整理する。	○	○
		情報の活用 (ワープロの活用)	5	ワープロソフトの応用操作を理解し, ビジネス文書の作成ができる。 文書の編集機能の習得をする。				
第 2 学期	中 間	第 2 節 ネットワークとコミュニケーション	3	メディアの発達について学ぶ。 ソーシャルメディアや, 表現活動, 情報発信について学ぶ。 コミュニケーションの特徴とその活用法について学ぶ。 情報発信の方法とその工夫・注意点について理解する。				○
		第 3 章 情報化社会の課題	4	情報社会の諸問題について理解する。 情報モラルについて理解し, それに基づいて				
実 習		第 1 節 情報化の影響と課題			4	情報モラルについて理解し, それに基づいて	○	

		実習 ・情報の活用 (表計算ソフトの活用)	6	行動することを学ぶ。 情報セキュリティについて理解する。 表計算ソフトの基本的操作を理解する。 データ入力と編集ができる。 合計や平均, 最大値・最小値などの基本的な関数の入力ができる。 グラフの作成ができる。	○	○	○	○
	期末	第2節 法律と個人の責任	9	著作権について理解する。 個人情報について理解し, その保護や活用について理解する。 情報化の進展によるサイバー犯罪, 犯罪につながる危険性, 依存性について調べ発表する。 具体的な事例などを通して, 問題点, 解決策などを考える。	○	○	○	○
		実習 ・情報の活用 (表計算ソフトの活用)	6	2つ以上の関数を組み合わせて入力できる。 相対参照, 絶対参照について理解する。 作成したグラフの内容を考察できる。	○	○	○	○
第3学期	学年末	第4章 望ましい情報社会 第1節 社会における情報システム	5	さまざまな情報システムについて理解する。 情報システムの発展について理解する。 今後の情報社会の変化について考察する。	○	○	○	○
		第2節 情報システムと人間	11	障害やエラーの対処方法について理解する。 デジタルデバイド (情報格差) について理解し, 対応できるようにする。 問題解決のステップについて理解する。 パワーポイントの基本操作を習得する。 テーマを決め, ブレーンストーミングを行う。 ブレーンストーミングで出された意見を KJ 法的な手法で整理する。 整理した内容を図解化する。 パワーポイントを使って発表する。	○	○	○	○
		第3節 情報社会と問題解決			○	○	○	○

計 70 時間 (50 分授業)

※ 評価の観点 関：関心・意欲・態度 思：思考・判断・表現  
技：技能 知：知識・理解

(評価の観点)

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	情報化が社会に及ぼす影響や課題について関心を持ち, 情報社会の一員として主体的に参画していく態度を身に付けようとしている。	情報を科学的にとらえ, 身近な問題の解決方法を考えるとともに, 情報社会における自分自身の行動のあり方について, 情報モラルの視点から, 適切に判断し, 表現しようとしている。	コミュニケーションや問題解決などの場面において, 情報機器や情報通信ネットワークを効果的に活用する力を身に付けようとしている。	コンピュータや情報通信ネットワークのしくみを理解するとともに, 情報社会を生きるための基礎的な知識を習得しようとしている。
評価方法	授業に対する関心や意欲や取り組みに対する姿勢。	情報を的確に把握し, いかに対応できるかを総合的に判断する。	課題を与え, その取り組む姿勢や提出状況を確認する。	考査の成績 提出物

担当者から一言	今日の情報化社会では, たくさんの情報の中から, 自分に必要なものをいかに選び出して発信する (相手に伝える) かが重要です。情報ソースの見方や活用の仕方を学びましょう。また, この授業をとおして「やっていいこと」と「やってはいけないこと」を自分で判断し, 行動できるようにしましょう。
---------	---